

(社)日本原子力学会 標準委員会 リスク専門部会
第110回 レベル1PRA分科会 議事録

1. 日時 第110回：2021年5月27日（木）14:00～16:00

2. 場所 Web開催（Webex）

3. 出席者

（出席委員）牟田主査，桐本副主査，橋本（和）幹事，佐藤（吉），西野，齋藤，菅原，
橋本（望），池田，佐藤（輝），三橋，塩田，小森（13名）

（常時参加者）藤崎，不破，丹野，根岸，白水，友澤（6名）

（敬称略）

4. 配布資料

- P4SC-110-1 人事案件の確認
- P4SC-110-2 第109回L1PRA分科会議事録（案）
- P4SC-110-3-1 内的事象L1PRA標準 基準原案
- P4SC-110-3-2 内的事象L1PRA標準 指針原案
- P4SC-110-3-3 基準・指針 原案の整備案件
- P4SC-110-4 基準及び指針の標準構成について

5. 議事内容

(1) 出席者/資料確認

委員13名が出席しており，分科会成立に必要な定足数を満足している旨が報告された。
また，配布された資料が確認された。

(2) 人事案件の確認

資料P4SC-109-1を用いて，先に行われた主査互選及びメール審議の結果について確認した。

(3) 第109回議事録の確認

資料P4SC-110-2を用いて，第109回分科会の議事録を確認した。コメントがあれば連絡
いただくこととし，特になければこのまま正式版とすることとなった。

(4) L1PRA標準統合性能化

資料P4SC-110-3-1～3-3及び資料P4SC-110-4により，L1PRA標準統合性能化の標準原案

について検討した。資料 P4SC-110-3-3 に基づき基準・指針を修正することとし、合わせて次の議論を反映する。

- ・基準・指針の箇条 6 での「選定」と「設定」の用語の使用について再整理する。
- ・基準 6.2.1 の評価単位における注釈に関して、別途単位の定義・用法についての議論が発生しており、その議論の状況も勘案して規定振りを調整する。
- ・指針 10.1 e) システム、機器の作動条件の扱い において、炉心損傷前の格納容器ベントは必ず環境悪化になるような規定振りとなっているため、ある条件下の場合であることが読み取れる表現とする。
- ・指針附属書 Q における叙事知に重点を置いた HRA 定性分析の説明が、ガイド（文献）の記載内容の説明になっている箇所があるため、手法の説明として修正する。

この他、本報告までに修正が必要な箇所があれば、適宜反映していく。

(5) スケジュール、その他

基準・指針原案の次回 8 月のリスク専門部会での本報告に向けて準備を進める。本報告の分科会決議等は、特段の事情が発生しない限り、メール審議で行なう方向とする。

次回分科会は、専門部会本報告後の 9 月～10 月を目途に改めて調整する。

以上